

京の春の訪れは嵯峨大念佛狂言から！

お松明公演

3月15日(日) 15:30

「土蜘蛛」他

嵯峨狂言クラブ成果発表会※

3月28日(土) 13:30

「船弁慶」

春季公演

4月5日(日) 13:30

4月11日(土) 11:30 ※※

4月12日(日) 13:30

※小学生と就学前児童による発表会です。

※嵯峨狂言クラブOB・OGによる若葉会の公演です。

演目は嵯峨大念佛狂言公式ウェブ・サイトでお知らせいたします。

境内狂言堂

主催：嵯峨大念佛狂言保存会
協力：京都嵐山ライオンズクラブ

(公財) 嵯峨教育振興会

清涼寺(嵯峨釈迦堂)
雨天決行・荒天中止
全席自由・観覧無料

重要無形民俗文化財

嵯峨大念佛狂言

二〇二六年春公演のご案内



←嵯峨大念佛狂言
公式ウェブ・サイト

国指定重要無形民俗文化財 嵯峨大念佛狂言

お松明公演／嵯峨狂言クラブ成果発表会／春季公演

2026/3/15[日] 15:30

3/28[土] 13:30

4/5[日] 13:30

4/11[土] 11:30、13:30

4/12[日] 13:30

■嵯峨大念佛狂言について

京都市の西、嵯峨釈迦堂の名で親しまれている古刹清凉寺の境内で執り行われる「嵯峨大念佛狂言」は国の重要無形民俗文化財にも指定されている民俗芸能です。すべての役者が面をつけ、台詞がなく、身振り手振りだけで芝居が進行する点に大きな特徴があり、現在は二十番の演目が残されています。

その歴史は古く、言い伝えでは鎌倉時代に融通念佛をひろめた円覚上人導御の創始とされています。保存会に残されている資料からみても、嵯峨大念佛狂言には室町時代(享禄2年[1529])の銘を持つ面が伝わっており、すでに500年近い歴史を有していると考えられます。この他にも、安土桃山時代の優秀な面打であった「だんまつま」作の《空吹》、その弟子の喜兵衛の刻銘を持つ女面《深井》や、和宮降嫁の際に宮中の女官としてその説得にあたった高野房子、そして幕末の勤王家津崎村岡局の菩提を弔うために奉納された装束など、美術史的にも宗教史的にも価値の高い数々の資料が伝わっています。

■お松明公演

釈迦の入滅(旧暦2月15日)にちなんで毎年3月15日に開催されるのが清凉寺の涅槃会とお松明式です。かつては「柱松明」とも称されていたこの行事にあわせて嵯峨大念佛狂言が執り行われます。公演がすんでしばらくすると、大提灯の行列が境内を練り歩き、そのあとに高さ7mほどの三本の巨大な松明に護摩木を焚いた火が投げ込まれます。

■春季公演

毎年4月の第一日曜、次の土曜と日曜の3日間にわたって行われる公演です。一日に三番の演目が上演されますが、初日最初の演目は「花盗人」、最終日最後の演目は「餓鬼角力」と決まっています。「餓鬼角力」で餓鬼(地獄の亡者)を演ずるのは、慣習として嵯峨狂言クラブ所属の子どもたちです。

■嵯峨大念佛狂言保存会

1963年以来中断されていた嵯峨大念佛狂言の公演を復活させようと1975年に結成されたのが嵯峨大念佛狂言保存会です。現在は演者、囃子方、着付け方など約20名のメンバーで構成されています。保存会では定期公演の他に、出張公演、嵯峨大念佛狂言の体験イベント、パネル展示などさまざまな活動を行っています。

■嵯峨狂言クラブ & 若葉会

1988年、嵯峨大念佛狂言の継承と若手育成を目的に嵯峨地域の小学生たちを中心に嵯峨狂言クラブが発足しました。現在では就学前児童も参加するようになり、毎年3月に定期公演を行っています。大人顔負けの白熱の演技には毎年大きな拍手が送られています。また、2022年には狂言クラブOB・OGによる若葉会も結成されました。公演日程は嵯峨大念佛狂言公式ウェブ・サイトでご確認ください。

Bhagavan
coffee



庭師がオーナーの清凉寺境内にあるカフェです。Bhagavan(バガヴァーン)とはサンスクリット語で「釈迦」のことで、メニューの多くには嵯峨大念佛狂言の演目名が使われています。さらにオリジナルのガチャガチャや扇子、トートバッグなどのグッズも取り揃えられています。公演前や合間の一服にぜひ足をお運びください。



清凉寺へのアクセス(狂言堂は境内の西北にあります)

■京都市営バス	28系統・91系統	嵯峨釈迦堂前下車	西へ徒歩2分
■京都バス	61・62・71・72・81系統	嵯峨釈迦堂前下車	西へ徒歩2分
■JR	嵯峨野線(山陰線)	嵯峨嵐山駅下車	北西へ徒歩15分
■嵐電	嵐山本線	嵐山駅下車	北へ徒歩15分



観覧無料／雨天決行
お席に限りがございますので、
お早めにお越しください。

嵯峨大念佛狂言保存会
お問合せ：080-1414-4864
✉ vtmi19509@leto.eonet.ne.jp
ウェブサイト：www.sagakyogen.info